

2 東部地域

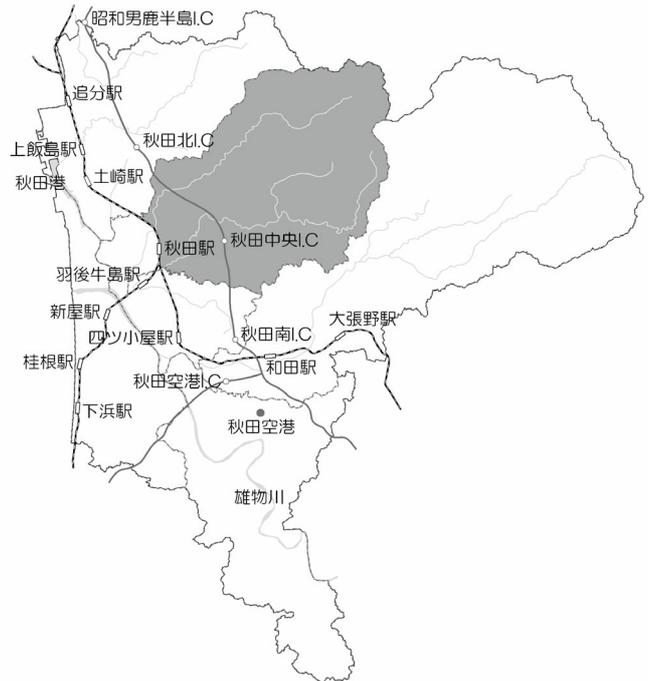
(1) 地域の概要

① 概況

東部地域は、秋田駅東口周辺に土地区画整理事業による基盤の整った住宅地が広がっており、地域内の幹線道路沿道には、多くの沿道型サービス施設が立地しています。

また、地域内には秋田大学やノースアジア大学をはじめとする高等教育機関が立地しており、学園都市としての性格を有しています。

市街地の東側には、良好な田園地帯や森林環境が広がっており、山間部には太平山リゾート公園や仁別国民の森などの観光拠点も整備されるなど、豊かな自然環境に恵まれた地域となっています。

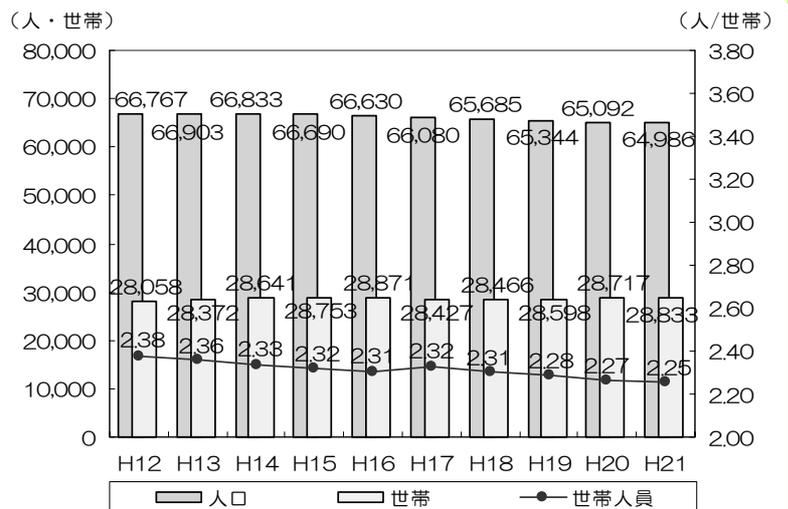


② 人口・世帯数の推移

東部地域の平成 21 年 10 月 1 日時点の人口は 64,986 人となっており、平成 12 年からの 10 年間で約 2.7% (1,781 人) 減少しています。

一方、人口減少が進む中で世帯数は平成 21 年で 28,833 世帯と 10 年間で約 2.8% (775 世帯) 増加しており、1 世帯当たりの人員も 2.38 人/世帯から 2.25 人/世帯に減少するなど、核家族化の進行や学生をはじめとする単身世帯の増加が見られます。

地域内の年齢別人口構成比（平成 17 年国勢調査より）をみると、年少人口（15 歳未満）が 11.9%、生産年齢人口（15～64 歳）が 65.5%、老年人口（65 歳以上）が 22.4% と、7 地域の中で最も生産年齢人口の割合が高い地域となっています。



※住民基本台帳（各年 10 月 1 日時点）より。H12,17 は国勢調査結果

③ 土地利用の状況・課題

東部地域の面積は約 17,930ha で、地域の約半分（約 8,270ha）が秋田都市計画区域（線引き都市計画区域）に指定されています。

秋田駅から東側に広がる市街地には用途地域（約 1,180ha）が指定されており、東側の田園・森林地域には、農業地域の農用地区域（約 1,020ha）や森林地域の国有林（約 5,250ha）、地域森林計画対象民有林^{※31}（約 8,850ha）、保安林（約 5,530ha）、自然公園地域の特別地域（4,400ha）が指定されています。

また、良好な都市景観を保全すべき地域として手形山風致地区が指定されています。

【商業・業務地】

本地域の市街地内に整備されている都市計画道路千秋広面線、秋田駅東中央線、川尻広面線の沿道に、沿道型サービス施設が立地しています。また、これらの 3 路線に接続し、本市の主要幹線道路のひとつでもある都市計画道路横山金足線の沿道においても、大規模な沿道型サービス施設が集中しており、本地域では自動車利用を前提とした沿道型の商業地が形成されています。

今後は、沿道型商業地の機能を維持していくとともに、既存商店街の活性化による地域住民の身近な買い物環境の充実など、自動車移動に頼らない生活環境づくりが求められています。

また、秋田駅東地区についても、本市の“顔”となる秋田駅と一体を成す地区として、都市機能の更なる充実を図り、拠点性の向上を推進していく必要があります。

【住宅地】

秋田駅東地区では、これまでに実施されてきた土地区画整理事業により、道路など良好な都市基盤が整備されており、そのエリアに戸建を中心とした比較的密度の高い住宅地が形成されています。また、事業が実施されていない地区でも、昔からの既存住宅地や民間開発等によって整備された住宅地が広がっています。

地域の北側には、手形山団地をはじめとする戸建住宅地が整備されており、都市計画道路横山金足線より東側の地区でも、大規模な住宅団地が開発されています。

郊外の田園地帯の既存集落においては、高齢化や人口の流出による空き家の増加や地域の活力低下が課題となっており、地域コミュニティの維持に向けた対策が求められています。また、下水道施設の整備が不十分な地区も見られるため、快適な集落環境づくりを進めていく必要があります。

【農地・自然環境】

地域の東側に広がる田園・森林地域では、山間の平野部に優良農地が確保されており、今後も貴重な農業生産の場として積極的な利用と適切な保全・管理が求められています。森林地域についても、一部が県立太平山自然公園に指定されるなど良好な環境が保たれており、引き続き、本市の貴重な緑の資源として保全・管理が求められて

います。

地域北側の丘陵地には、良好な景観を有する手形山公園があり、住宅地から望む良好な緑の空間となっています。また、地域の北側に旭川、中央から南側にかけて太平洋が流れ、市街地内の貴重な水辺空間としての役割を果たしています。

【その他の拠点・都市機能】

本地域には、秋田大学やノースアジア大学など、秋田県を代表する大学が立地しており、あわせて地域の総合病院となる秋田大学医学部付属病院も整備されるなど、広域的な文教・医療拠点としての役割を担っています。

観光拠点としては、秋田駅東口に市民や来訪者の交流の場となるアルヴェが整備されています。また、郊外の山間部には、プールやスキー場などのレクリエーション施設を併設した太平山リゾート公園や豊かな森林環境を活かした仁別国民の森が整備されており、市内外からの交流人口の拡大に向けて、各施設の機能充実と積極的な活用が求められています。

④ 交通施設の整備状況・課題

【広域交通】

広域交通を担う道路として、地域内に秋田外環状道路(高速道路)と秋田中央インターチェンジが整備されています。

また、市街地から秋田中央インターチェンジに連結する都市計画道路秋田駅東中央線が整備されており、高速道路へのアクセス性向上が図られています。

【地域間・地域内交通】

県内外への広域交通を担う秋田外環状道路(高速道路)は、広域的に通過する交通を市街地から排除するための外周部環状道路としても位置づけられています。

また、都心の通過交通を排除するための市街地環状道路として、都市計画道路横山金足線が整備されています。

周辺地域から都心への発着交通に対処する道路として、都市計画道路千秋広面線、川尻広面線などが都心環状道路に位置づけられています。これらの路線は、秋田駅の東西を結ぶアクセス道路として重要な役割を担っており、未整備区間の計画的な整備が求められています。

郊外からのアクセス道路としては、県道秋田八郎潟線や秋田岩見船岡線、秋田北野田線等の主要地方道が整備されており、更なるアクセス性の向上に向けた維持・改修が望まれます。

【公共交通】

本地域には、JR 秋田新幹線、奥羽本線、羽越本線が発着する秋田駅が整備されており、秋田駅東口にはバス・タクシー・自家用車などが利用できるターミナルが整備されています。

しかし、バスによる郊外地域から秋田駅までのアクセス性・利便性が不十分であり、多くの住民がマイカーでの移動を選択せざるを得ない状況にあることから、バス路線の利便性向上によるライドアンドライドの促進など、交通量の抑制と低炭素型の地域内移動の実現に向けた環境整備が求められています。

⑤ その他の状況・課題

【景観形成】

本地域は、市街地周辺の手形山風致地区における丘陵地を活かした良好な緑地景観、市街地内を流れる河川を活かした水辺景観、市街地の東側に広がる田園・森林景観など、様々な自然資源によってうるおいのある景観が形成されています。

また、秋田駅東口地区では、土地区画整理事業によって整備された計画的な街並みが広がっています。今後は、更なる魅力づくりに向けて、建物形態のルール化など、より統一感のある街並みづくりに向けた取組が重要となります。

【大学との連携】

本地域には、県を代表する秋田大学やノースアジア大学が立地しており、地域内に多くの若者が居住しています。その恵まれた特性を活かし、大学との連携強化を図りながら、実践的な学習の場としての環境づくりや地域住民との交流の場の創出など、若い力を活用した地域活力の向上が期待されます。

(2) 目指すべき地域の姿

太平山を望む東玄関 人を育む学園都市

- 秋田駅東地区を中心に都市機能が集積する 利便性の高いまちづくり
- 地域内の大学を活かした 若者が集まりにぎわいを生み出すまちづくり
- 豊かな自然環境と調和した 居住性の高いまちづくり

本地域は、豊かな自然環境を有する一方で、秋田駅東地区を中心とした大規模な都市基盤整備、宅地化の進展や幹線道路沿道におけるサービス施設の立地など、都市化が進んできた地域でもあります。

今後は、秋田駅東地区を中心として公共交通を含む都市機能の更なる充実を図り、商業機能の誘導など生活利便性の高いまちづくりを目指します。

また、地域内に立地する大学との積極的な連携を図りながら、若者が集う活気のあるまちづくりを推進し、地域の活力創出を目指します。

本地域の恵まれた自然環境については、郊外における無秩序な都市化の抑制や市民や行政など多様な主体の連携によって適切な保全・管理を進め、市街地についても、自然環境と調和した居住性の高い環境づくりを目指します。

(3) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

【地域中心の拠点性の向上】

- 交通の拠点となる秋田駅をはじめ、幹線道路沿道に沿道型サービス施設を中心とした商業機能を有し、また、都市基盤の整った良好な住宅地に多くの市民が居住している秋田駅東地区を、東部地域の地域中心として位置づけます。
- 秋田駅東地区周辺については、本地域の地域中心として、大学や病院などの既存機能の維持・活用とともに、商業・業務機能や文化機能など、更なる都市機能の集積に向けた環境づくりを図り、市民や学生が集う、にぎわいのある地域中心の形成を目指します。

【商業・業務機能の適切な誘導】

- 都市計画道路横山金足線、秋田駅東中央線など、幹線道路沿道に形成されている沿道型商業・業務地については、都市全体の商業地との役割分担を図りながら、地域内における計画的なサービス施設の立地を誘導します。
- 都市計画道路千秋広面線、川尻広面線の沿道商業地については、自動車利用者だけでなく、地域住民の身近な買い物の場として、関連施設が進出しやすい環境整備を進め、日常生活の利便性向上を目指します。
- 沿道型商業・業務地の形成に当たっては、後背住宅地に与える影響に十分に配慮した上で、適切な用途・規模の施設の立地を誘導します。

【快適な居住環境の形成】

- 土地区画整理事業によって、十分な都市基盤が整備された秋田駅東地区の住宅地については、引き続き良好な居住環境の維持・向上を図ります。既存住宅地についても、地区計画や建築協定などの手法を活用しながら、緑地の創出など良好な居住環境の形成に向けた取組を促進します。
- 手形山団地など、北側の丘陵地に近接して整備された住宅地については、周辺の自然・歴史環境との調和に配慮しながら生活環境の維持・向上を進め、風致地区内の良好な居住環境の保全を図ります。

- 本地域の充実した医療機能を活かした街なか居住の誘導に向けて、民間活力の導入や既存ストックの活用を図りながら、郊外部からの住み替えの受け皿となる高齢者向け住宅等の整備を促進し、集約型都市構造の実現を目指します。

【自然環境の保全・管理】

- 本地域の東側に広がる森林地域については、将来にわたって保全すべき貴重な資源であることから、都市計画法や森林法などの関連法令の適切な運用により、森林の喪失防止を図るとともに、森林環境保全への市民意識を高めるための情報提供の充実を進めながら、市民や行政、企業などの多様な主体の連携・協働により、豊かな森林環境の保全・管理を図ります。
- 旭川や太平川をはじめとする本地域を流れる河川については、市民や行政など多様な主体の協働・連携による良好な河川環境の保全活動を促進します、また、河川の整備・改修にあたっては、生き物の多様性に配慮した、河川整備を促進します。
- 河川の水質保全に向けて、公共下水道など地域特性に応じた適正な排水処理の実施を促進するとともに、排水などで河川を汚染しないよう、地域住民への意識啓発や情報提供の充実を図ります。

【田園環境の保全・管理】

- 市街地を囲む田園地帯については、無秩序な開発の抑制と優良農地の確保により、良好な営農環境の維持・保全を図るとともに、農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修により農業生産環境の向上を促進し、優良農地の保全を目指します。
- 農業従事者の高齢化や後継者不足などを背景として、増加が見込まれる耕作放棄地については、農地情報の適切な管理と農地利用を推進し、耕作放棄地の発生抑制を目指します。

【郊外既存集落の維持・活性化】

- 高齢化や人口流出によって衰退が懸念される郊外の既存集落については、コミュニティの維持・活性化に向けて、他都市からの住み替えやU・J・Iターンなど、新たな人口流入の促進に寄与する都市計画制度等の導入を検討します。
- 都市計画制度等の導入により、集落で発生している空き家や耕作放棄地については、農産物の産直施設や農家民宿、体験農園などとしての利活用を促進し、都市と農村の交流の場の創出と地域の活力向上を目指します。
- 既存集落においては、下水道施設の整備や生活道路の改修など、集落環境の維持・向上を図り、流入人口の拡大を目指します。

② 交通体系の整備方針

【幹線道路の整備促進】

- 広域交通を担う秋田外環状道路(高速道路)へのアクセス性向上に向けて、市街地から秋田中央インターチェンジに連結する都市計画道路秋田駅東中央線の適切な管理を図ります。
- 地域内を通る市街地環状道路や都心環状道路などの環状道路については、引き続き適切な管理を行うとともに、関係機関との調整を図りながら、未整備区間の計画的な整備を促進します。
- 秋田駅の東西を結ぶ都市計画道路千秋広面線、川尻広面線、千秋山崎線については、都心部への円滑なアクセスを担う重要な道路として、その機能の充実を促進し、地域中心における活力向上を目指します。
- 都市計画道路明田外旭川線の計画的な整備を推進し、都心環状道路の機能向上を図るとともに、北部地域との連絡道路としての機能の強化を図ります。
- 郊外部から地域中心へのアクセス道路となる、県道については、関係機関との調整を図りながら、アクセス性の維持・充実を促進します。

【持続可能な公共交通の確保】

- 本市の玄関口であり、市内外への移動の拠点となっている秋田駅周辺については、市民の交通結節拠点として、施設のバリアフリー化や鉄道とバス交通との連携強化による機能充実を促進します。また、秋田駅東口のターミナル等の利活用を図り、ライドアンドライドなど低炭素型の地域内および都市間移動への移行を促進します。
- 郊外地域から秋田駅までのアクセス性・利便性の向上に向けて、バス路線の再編を含めた公共交通網の見直しを促進し、公共交通利用者の拡大を目指します。

【安全で快適な道路環境づくり】

- 小中学校の通学路などでは、街灯や防犯灯の設置を進めるとともに、地域住民の連携・協力によるパトロールの強化など、安全安心な道路環境づくりに向けた取組を促進します。

③ その他の方針

【市街地開発事業の計画的な整備】

- 秋田駅東地区については、土地区画整理事業の円滑かつ計画的な整備を推進し、良好な居住環境の形成を図ります。

【観光拠点の利活用による地域活力の創出】

- 太平山リゾート公園をはじめとする大型観光拠点については、恵まれた自然環境と

都市近郊の立地を活かし、積極的な PR やイベントの開催などによる有効活用を促進します。また、地域内の観光拠点や歴史・文化施設を巡る回遊ルートの設定を促進し、地域の交流人口の拡大を目指します。

- 既に整備済みの仁別サイクリングロードについても、官民連携による維持・管理や活用を促すイベント等の開催による利用者の拡大を図り、太平山リゾート公園との連携強化を目指します。

【地域資源を活かした魅力ある景観づくり】

- 地域の東側に広がる田園・森林環境については、今後も農地や森林の適切な維持・保全と多様な主体による管理を促進し、良好な自然景観の保全を図ります。
- 本市を象徴する太平山を望む良好な眺望の保全に向けて、視点場からの眺望を阻害する突出した高さの建築物の発生を抑制する、建築物の高さ制限の導入についても検討を進めます。
- 手形山公園は、良好な都市景観を有する風致公園として、市街地からの良好な景観の維持・保全を図ります。また、周辺の住宅地においても、丘陵地や寺社など、緑豊かな環境と歴史・文化資源を活かした、良好な街並みづくりを促進します。
- 旭川や太平川などの河川については、市民や行政など多様な主体の連携・協働により、川沿いの緑化や親水空間の整備など、魅力ある河川景観の創出を図ります。
- 土地区画整理事業によって、都市基盤が整備された秋田駅東地区においては、街区分けされた計画的な市街地景観の維持・育成を目指し、地区計画や建築協定、緑化協定などによる建物形態や敷地内緑化に関するルールの導入など、統一感のある魅力ある街並みづくりを促進します。

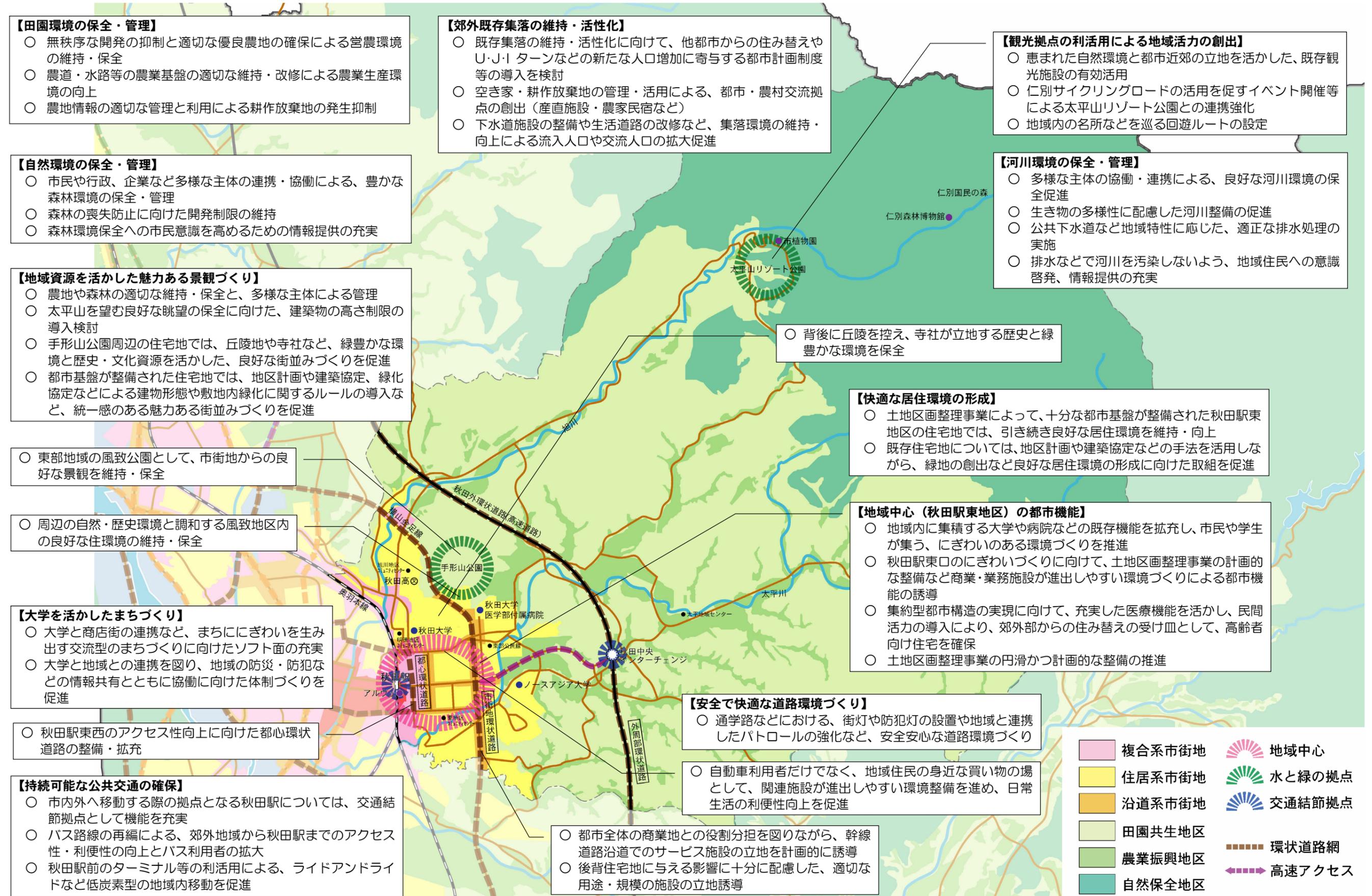
【大学を活かしたまちづくり】

- 若者が集まる活気のあるまちを目指し、地域内に立地する大学と地域コミュニティとの連携を強化し、学生の力を活かした地域活力の創出を図ります。
- 地域の防災・防犯活動や除雪作業など、日頃の地域コミュニティ活動についても、学生をはじめとする若者との連携・協力体制を強化し、誰もが安全安心に暮らせるまちづくりを目指します。

【安全安心なまちづくり】

- 安全安心なまちづくりに向けて、防犯活動や除雪作業などの地域コミュニティ活動の強化・充実や、地域内の病院や大学と連携しながら安全安心の確保を図ります。
- 地震等の災害に強いまちづくりに向けて、河川や山林の防災対策の充実とともに、地域内の老朽化建築物の建て替えと耐震化の促進を図ります。また、狹隘道路が残る地区については、地区計画等の導入により、緊急車両が円滑に通行できる道路を地区施設として確保するなど、安全性の高い環境整備を促進します。

■ 東部地域構想図



【田園環境の保全・管理】

- 無秩序な開発の抑制と適切な優良農地の確保による営農環境の維持・保全
- 農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修による農業生産環境の向上
- 農地情報の適切な管理と利用による耕作放棄地の発生抑制

【郊外既存集落の維持・活性化】

- 既存集落の維持・活性化に向けて、他都市からの住み替えやU・J・Iターンなどの新たな人口増加に寄与する都市計画制度等の導入を検討
- 空き家・耕作放棄地の管理・活用による、都市・農村交流拠点の創出（産直施設・農家民宿など）
- 下水道施設の整備や生活道路の改修など、集落環境の維持・向上による流入人口や交流人口の拡大促進

【観光拠点の利活用による地域活力の創出】

- 恵まれた自然環境と都市近郊の立地を活かした、既存観光施設の有効活用
- 仁別サイクリングロードの活用を促すイベント開催等による太平山リゾート公園との連携強化
- 地域内の名所などを巡る回遊ルートの設定

【自然環境の保全・管理】

- 市民や行政、企業など多様な主体の連携・協働による、豊かな森林環境の保全・管理
- 森林の喪失防止に向けた開発制限の維持
- 森林環境保全への市民意識を高めるための情報提供の充実

【河川環境の保全・管理】

- 多様な主体の協働・連携による、良好な河川環境の保全促進
- 生き物の多様性に配慮した河川整備の促進
- 公共下水道など地域特性に応じた、適正な排水処理の実施
- 排水などで河川を汚染しないよう、地域住民への意識啓発、情報提供の充実

【地域資源を活かした魅力ある景観づくり】

- 農地や森林の適切な維持・保全と、多様な主体による管理
- 太平山を望む良好な眺望の保全に向けた、建築物の高さ制限の導入検討
- 手形山公園周辺の住宅地では、丘陵地や寺社など、緑豊かな環境と歴史・文化資源を活かした、良好な街並みづくりを促進
- 都市基盤が整備された住宅地では、地区計画や建築協定、緑化協定などによる建物形態や敷地内緑化に関するルールの導入など、統一感のある魅力ある街並みづくりを促進

○ 背後に丘陵を控え、寺社が立地する歴史と緑豊かな環境を保全

○ 東部地域の風致公園として、市街地からの良好な景観を維持・保全

【快適な居住環境の形成】

- 土地区画整理事業によって、十分な都市基盤が整備された秋田駅東地区の住宅地では、引き続き良好な居住環境を維持・向上
- 既存住宅地については、地区計画や建築協定などの手法を活用しながら、緑地の創出など良好な居住環境の形成に向けた取組を促進

○ 周辺の自然・歴史環境と調和する風致地区内の良好な住環境の維持・保全

【地域中心（秋田駅東地区）の都市機能】

- 地域内に集積する大学や病院などの既存機能を拡充し、市民や学生が集う、にぎわいのある環境づくりを推進
- 秋田駅東口のにぎわいづくりに向けて、土地区画整理事業の計画的な整備など商業・業務施設が進出しやすい環境づくりによる都市機能の誘導
- 集約型都市構造の実現に向けて、充実した医療機能を活かし、民間活力の導入により、郊外部からの住み替えの受け皿として、高齢者向け住宅を確保
- 土地区画整理事業の円滑かつ計画的な整備の推進

【大学を活かしたまちづくり】

- 大学と商店街の連携など、まちのにぎわいを生み出す交流型のまちづくりに向けたソフト面の充実
- 大学と地域との連携を図り、地域の防災・防犯などの情報共有とともに協働に向けた体制づくりを促進

【安全で快適な道路環境づくり】

- 通学路などにおける、街灯や防犯灯の設置や地域と連携したパトロールの強化など、安全安心な道路環境づくり
- 自動車利用者だけでなく、地域住民の身近な買い物の場として、関連施設が進出しやすい環境整備を進め、日常生活の利便性向上を促進

○ 秋田駅東西のアクセス性向上に向けた都心環状道路の整備・拡充

○ 都市全体の商業地との役割分担を図りながら、幹線道路沿道でのサービス施設の立地を計画的に誘導

○ 後背住宅地に与える影響に十分に配慮した、適切な用途・規模の施設の立地誘導

【持続可能な公共交通の確保】

- 市内外へ移動する際の拠点となる秋田駅については、交通結節拠点として機能を充実
- バス路線の再編による、郊外地域から秋田駅までのアクセス性・利便性の向上とバス利用者の拡大
- 秋田駅前のターミナル等の利活用による、ライドアンドライドなど低炭素型の地域内移動を促進

- 複合系市街地
- 住居系市街地
- 沿道系市街地
- 田園共生地区
- 農業振興地区
- 自然保全地区
- 地域中心
- 水と緑の拠点
- 交通結節拠点
- 環状道路網
- 高速アクセス